



報 同 窓 会 工 會

2008

校 歌

嶺は香づる磐梯山
 水は湛うる猪苗代
 これぞ乾坤秀靈の
 精氣鍾り成る処

明治三十七春なかば
 礎堅くきずかれて
 星霜ここに幾かえり
 平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け
 鶴を徽章に雄々しくも
 至誠勤勞一すじに
 進む健児の意氣高し

峙つ嶺は峻しくも
 寄せ来る浪は高くとも
 これ奮闘の活舞台
 これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
 作曲 新潟師範学校

初秋の候 会員の皆様におかれましては益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る七月三日に会長梅津正夫氏が急に亡くなされました。氏は昭和十三年五月二十五日に北会津郡荒館中荒井に生まれ、その後荒館小、荒館中、会津工業高等学校染織科へ入学。昭和三十二年三月に卒業され同年会津ガズに入社後平成元年四月にガスワーク株式会社を設立し、社長として手腕を発揮され、その後社名変更でガスワークの社長として勤めて平成十九年四月よりグロリア株式会社の会長として、又仕事上でガスプロパン協会各役員も多く、その上前会津若松運輸管理者協会会長、福島県バレーボール副会長、元会津若松ライオンズ会長、元町内会長、松江財団常任理事、その多数多くの公職に就かれておりました。氏の偉業を讃え同窓会員を代表してあり日の姿を偲び弔辞を奉尊いたしてまいりました。

弔辞



『梅津会長をしのんで』

同窓会会長代行 手代木利夫

(昭和28年建築科卒)

謹んで 故梅津正夫氏の霊前に弔辞を捧げ哀悼の意を表します。突然のあなたの訃報に樹棲し今日又ここに告別式に参加することは哀惜の窮みであります。あなたは平成十五年十月より県立会津工業高等学校十六代同窓会会長として今回まで元氣な姿で活躍されておりました。同窓会入会式 卒業式 入学式にそのお姿が見れないのが残念でなりません。あなたは学校教育方針 五つの誓

一、人格の完成
 一、社会性の涵養
 一、真理の探究
 一、工業技術の習熟
 一、健康の保持増進
 に努力され同窓会長賞を設立し今年の表彰式に、初めて会長より授与されました。

かえりみれば、同校創立百周年記念事業において、事業部長として活躍され、同窓会館（鶴翔会館）建設に当たり努力されました。現在でも年間延べ一千五百名の生徒が利用しております。又、吉田前会長胸像建立委員会の委員長として同窓会員に対して趣旨の理解とご賛同をいただくため努力され完成を見ました。地域同窓会、科別同窓会、

熱いご支援に感謝、学校側は常に最新情報の発信を！

前校長 熊田良治

・「嶺は秀づる磐梯山 水は湛うる猪苗代 これぞ乾坤秀霊の 精気鍾り成る処」
 ・「鶏鳴三度地に鳴きて 会陽の地の朝ぼらけ 緋緘鎧若武者が 血潮高鳴る胸の鼓動」
 ・「頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男子 栄えある健児よ 想の盾をば振りかざし」
 ああ！なんと明快で小気味よく心に響く校歌・応援歌ではありませんか！！同窓生の皆様方は、この校歌・応援歌を人生の折々で口ずさんでおられることでしょうか。嬉しく喜びに満ちているとき、苦しくて辛いとき、悲しくて泣きたいとき、青春時代の頑張りや校歌・応援歌に込めて、自分を励ましてきたのではないのでしょうか。多くの人々にとって母校とはそういう存在であると存じます。
 全国の会工同窓生の皆様、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。母校の動静や後輩達の活躍を、新聞やテレビ報道で見聞きする度に、後輩達に熱い声援を送っていることと存じます。同窓会は会工の大応援団であります。本当にありがとうございます。
 かく言う不肖私儀も、この度会工の卒業生皆様の仲間入りを果たしました。平成20年3月末で定年退職いたしました。会工在職中は、同窓生の皆様方に熱い、熱い！熱い！！ご支援を賜り、楽しく、思い出深い・充実した日々を過ごさせていただきました。誠にありがとうございます。心より厚く御礼申し上げます。会工教員として定年を迎えたことは私の誇りであります。
 ところで、常に申し上げて参りましたが、創立106年目の会工は、明治35年（1902年）に「福島県立工業学校」として開学以来、一貫して「ものづくり魂」を受け継ぎ、幾多の先輩諸氏が全国で活躍し、会工の名を高めてきました。会工の教育目標は『人格の完成、社会性の涵養、真理の探究、工業技術の習熟、健康の保持増進』です。この目標は会工の建学の精神であります。会工教育の最大の特色は、先輩から後輩に受け継いできた『ものづくりによる人づくり、部活動による心づくり、つまり人格教育』です。これらも会工教育の発展のために、互いに協力して応援して参りましょう。よろしくお願ひします。



松江奨学会・同窓会より
熊田前校長に感謝状贈呈（H20.3.27）

退職にあたり松江奨学会・同窓会より感謝状を頂戴しました。誠にありがとうございます。また、梅津正夫会長様の突然の御逝去、残念でなりません。故人の御冥福を御祈り申し上げます。
 ザイ！！

ここで、この紙面を借りて学校側にお願ひします。私は会工在職中に、数多くの会工同窓会に出席し、限らないご支援とご協力を頂戴してきました。そして全国の同窓生は、会工生の一挙手一投足を敏感に注目している、肌で感じてきました。全国の同窓生が会工を知る術は何でしょうか。それは「報道を通じて」であり、「会工ホームページ」であります。どうぞ、会工生の活躍や会工発展の現況をつぶさに発信してください。情報は最新の方が価値が上がります。退職して痛感することは、学校の外側からは学校内部が見えないということです。会工生の活躍のニュースを素早く発信することで、同窓生はもちろん、保護者・地域・企業・そして小中学生等々から会工が理解されます。工業教育の良さが社会に広く伝わり、工業高校の見直し発展に繋がります。幸いにも平成20年度から「地域連携推進部」が、会工の学校組織に誕生しました。この組織が中心となり、できれば全県版・東北版・全国版に載るようなニュースや様々な取り組み等々を発信すれば、全国の会工同窓生に後輩の活躍の様子が届きます。どうかよろしくお願ひします。
 最後に、会工建学の精神である「人格教育」の充実と、会工卒業生を誇りとし会工校歌・応援歌を愛してやまない同窓生の皆様のご健勝とご多幸と、そして同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げ、私の退職の挨拶といたします。カイコーパン

同窓会総会



定例総会 平成19年10月13日

関連記事

同窓会事業報告(2007.8~2008.9)

- ▶平成19年
 8月11日 柔友会総会
 8月25日 同窓会会報2007発行
 6500部印刷 5000部発送
 坂下会工総会 会長・校長・事務局3名出席
 9月3日 若松会工役員会・本部役員会
 9月14日 同窓会会員名簿発行
 9月30日 一般会計ならびに特別会計・積立金監査
 10月6日 三役会
 10月8日 本部同窓会総会
 10月13日 電友会総会
 10月20日 来年度の県立高校の募集定員発表
 10月20日 化学工学科募集停止
 セラミック科が『セラミック化学科』になる
 10月22日 臨時役員会
 ・総会時会計報告・今後事業・同窓会賞
 猪苗代会工総会
 シュガーキング基金設立記念式典に2名出席
 ▶平成20年
 1月 バレーボールOB会50周年記念
 1月25日 会津会工新年会
 2月12日 松江奨学会理事会・・・本部役員出席
 2月23日 建友会総会
 2月29日 同窓会入会式に役員多数出席 応援旗の贈呈
 3月1日 卒業式に役員多数出席
 3月1日 卒業式祝賀会に役員6名出席
 3月15日 福島会工総会
 3月22日 美修会総会
 3月27日 本部同窓会引継ぎ会・・・学校・PTA・本部三役・事務局合わせて13名出席
 熊田前校長へ感謝状贈呈
 3月27日 職員クラブ主催送別会に会長ほか3名出席
 4月4日 職員クラブ主催歓迎会に会長ほか3名出席
 4月8日 入学式に役員出席
 4月24日 本部役員会・梨子本前事務局長へ感謝状贈呈
 5月10日 同窓会会報2008原稿依頼
 5月17日 郡山会工総会
 6月1日 東海会工総会
 6月21日 東京会工総会

- 6月22日 近畿会工総会
 6月24日 松江奨学会理事会
 7月3日 本部同窓会会長梅津正夫氏物故される
 (告別式7月6日)
 7日 5日 機友会総会
 7月7日 野球OB会総会
 7月9日 三役会 事務引継ぎ
 7月19日 セラ友会総会
 7月25日 臨時役員会
 8月15日 サッカーOB会総会
 9月3日 坂下会工総会
 9月15日 同窓会会報2008発行

懇親会・祝賀会

平成19年10月13日
 ホテルいづみやにて



平成19年10月 定例総会



若松会工主催 研修親睦会のご案内

日時：平成20年10月13日（月）

- 会津若松ワシントンホテル集合（11：00）
 同ホテルで昼食会（11：30～12：15）
 猪苗代町翁島「天鏡閣」・「迎賓館」見学（13：05）
 磐梯町・慧日寺の「金堂」見学（14：30）
 会津若松ワシントンホテル解散（15：50）

◎会費は¥2,000となります。

お問合せ先：研修親睦会幹事

小山 源昭 TEL 090-9635-0236（携帯）

同窓会定期総会開催のお知らせ

日時：平成20年10月18日（土）

午後4時より総会（午後6時より懇親会）

講演会（総会終了後）

演題「窯変天目茶碗の制作を通した
 スペシャリスト育成への挑戦」

講演者 佐藤正道氏（昭和59卒）
 セラミック科・セラミック化学科主任

場所：ホテル「いづみや」
 市内南千石町 TEL 0242-27-5538

会費：5,000円（新入会員は3,000円）

※詳細については同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

同窓会事務局（真田郁夫） TEL 0242(27)7456
 会津工業高校内 FAX 0242(29)9239

シユガーキング
10周年記念式典
平成19年11月
(有楽町・電気会館)



松江奨学会 理事会後懇親会

友会「懇親会



各支部総会時等の代表あいさつ
代表副会長 手代木利夫

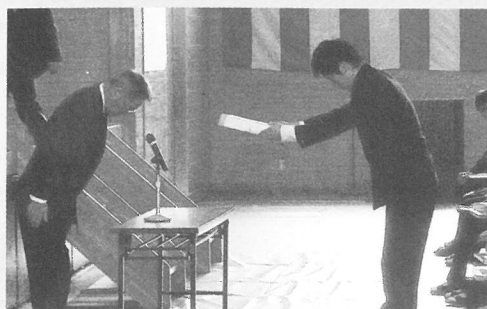
同窓会の活動

事務局を長年務めた梨子本さんに感謝状



祝賀会 (米熊にて)

同窓会会員名簿発刊
平成19年9月



同窓会入会式時 記念品贈呈
(東京会工会より)



松江賞・初めての同窓会賞授与式 平成20年2月28日



臨時役員会 平成20年7月 鶴翔会館にて



平成20年1月 新年会 (米熊)



駒大 大八木監督と(創立記念講演時)

同窓生として

H19年3月セラミック科卒
小山 信幸



私達は3年間学んだ会工を卒業し、同窓会に入会させていただきましたが、詳しい活動内容を具体的に知りませんが、残された在校生の学校生活に役立つ活動等を、本当に自分達が行っているのか、母校のために何をすれば良いのか不安は数多くあります。しかし、卒業後も母校に携えることをとても誇らしく思っているため、母校の発展のために力を入れていきたいと思っています。最後になりますが、同窓会の一員となつたことに深く刻んで、母校のためになるよう精一杯努力精進してゆきたいと思っておりますので、御指導よろしくお願いいたします。

若松会工会の活性化に向けて

副会長 若狭春生 (昭38K卒)

平成18年 会津若松市に河東町と北会津町が合併され、若松会工会もそのエリアが広くなり、多くの同窓生に同窓会の趣旨を理解して頂き、同窓会活動に参加してもらうべく色々な集会や機会をとらえて賛同を得るべく話をしてはいるが、中々参加まではいかないのが現状で、話の中で同窓会の一部の人達の集まりの様に考えていたり、年寄りの集会の一部と思っておられる方もおり、更に昨今の景気の低迷が余分な経費削減と相まって、同窓会に入れば経費がかかるから未だ入らなくても良いなどの返事をもらうと同窓会の楽しみ



大きくなり楽しい有意義な同窓会に発展するのではないだろうか。どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。昨年の若松会工会の行事は次のとおりでした。
第1会役員会
6月13日(親睦会開催)
若松会工会総会
10月13日(本部同窓会と同日開催)
親善ゴルフコンペ
10月14日 河東CC参加者10名
なお、10月13日(月)史跡見学ツアーとして「磐梯山慧日寺・宮内庁所管翁島迎賓館」の見学会を開催します。翁島迎賓館は当日24名までしか入場出来ませんので人数になり次第締め切らせていただきます。
最後に例年開催してましたゴルフコンペは参加者が少なく今年度は取りやめにいたします。

会津会工会

毎年、会津会工会は新年会を兼ねて市内割ほう「米熊」にて、1月下旬に開催し、親睦を深めております。
今年は1月25日に、約60名の出席で一年間の活動と本部同窓会への支援協力を申し合わせしました。



定例総会 平成20年6月

東京会工会

会長 荒井士郎 (昭34K卒)

二〇〇八年四月「会工会だより」発行
室井名誉顧問タヒチ政府から「タヒチ・マイコマンド勳章」を受章。
二〇〇八年五月十九日
神奈川県茅ヶ崎西海岸に於て地引網催行。
二〇〇八年六月二十一日
総会 上野静養軒にて
出席者会員九十一名、同伴二名、来賓七名



「会員相互の親睦」を基に会津の名酒「末廣」の樽割を始め盛大に催行。

大漁だよ 湘南海岸地引き網

東京会工会では5月17日(土)湘南茅ヶ崎西海岸にて、第5回東京会工会「地引き網」を開催いたしました。
当日は、晴天に恵まれ、湘南海は穏やかで絶好の地引き網日和の中、会員及び会員関係者としてTOTO(株)の会工会員やその友人・知人の方々を含め総勢69名の参加をいただきました。
9時30分集合、会長及び副会長の挨拶の後、10時頃より約2時間前に700メートル沖合いに入っていた網を一斉に引き上げにかかりました。

文武両道

鶴雲飛翔

動力で引いてくれるのできつい
労力ではありませんが、みなさん
んで「ヨイショ、ヨイショ」と声
を掛け合い網を浜辺に引き上げる
ことができました。
網の中には、湘南名物のシラス・
サバ・アジ・イワシなどがぎっし
り入っていて大漁でした。
額に汗した後は、いよいよ懇親
会食となりテントの中で捕れたば
かりのシラスをショウガ醤油をか
けお腹いっぱい食べることが出来
ました。
皆さんは湘南名物の生シラスを
思う存分食べて満足されており、
これだけでも地引き網開催の意義
があるように思われました。
アジ・サバ・イワシなどはサシ



ミと焼き魚に、野菜のバーベキ
ーも含めてお酒・焼酎・ビールを
酌み交わし捕れたての魚の味を十
分に味わいました。
テーブルには弁当・オードブル・
てんぷら・漬物・かわきものなど
皆さんの料理が並び、美味しい食
事で笑顔・笑顔の皆様でした。
砂浜では、宝さがし・スイカ割
りで子供達の歓声がこだまし、更
に全員による恒例のビンゴゲーム
を楽しみました。
子供(孫)や家族を巻き込んだ、
茅ヶ崎での地引き網も東京会工
開催のメイン行事になってきたよ
うに思います。
最後に伊藤副幹事長・菅家顧問
両氏の音頭にて校歌・応援歌を声
高らかに歌い懇親会を終了しまし
た。
地引き網の醍醐味を満喫し、会
員相互の親睦をおおいに図ること
ができたものと判断しています。
参加者から是非来年もやろう
との声があり年間行事予定に組み
込んでおります、皆様のご参加を
心よりお待ちしております。

東海会工

会長 星 芳雄
(昭36E卒)

平20年6月1日総会を開催しま
した。
開催に当たり平20年3月7日一



東海会津会工と菅家一郎様の面談の様子

泊旅行で役員会を行い総会の打合
せをしました。打合せの主たる内
容は、出席人員の増加を図るには
です。
対策として昨年同窓会役員名簿
が発刊されたので会員名簿から洩
れていた昭35年卒以降の人に絞り
リストアップ、総会案内状を追加
発送し、その後地区連絡委員は地
区会員へ訪問や電話等の連絡をし
て出席を呼びかけました。
結果
案内状発送総数
出席
欠席
今後連絡不要
行方不明
未回答
出席は例年通りでした。
39 4 24 29 23 119



東海会工総会

出席人員の増加を図るには、普
段から会員間のコミュニケーション
ンが大事であると痛感しました。
又、高齢化社会を反映して体調
不調での欠席の方が年々増加して
います共々に体調管理には十分気
を付けていきたいと思っています。
総会は、校歌斉唱で始まり手代
木副会長、渡邊学校長等の来賓の
方々祝辞を頂き浅沼定雄さん(昭
33K卒)の詩吟と剣舞で大変盛り
上がった総会でした。

近畿会工 中間役員会と 新年会を開催

会長 渡部藤雄
(昭31E卒)

近畿会工では恒例の新年会を、
去る一月二十七日大阪曾根崎町の
割烹「八幸」で、賑やかに開催い
ました。
京都方面などから少し早めに来
た人は、近くの「お初天神」でお
参りを済ませ、定刻の十二時には、
予定の十二名が揃った。今年は久
しぶりに彦根市の方から、斎藤先
輩(28M)も出席される予定でし
たが、急用のため欠席となり、結
局毎年同じメンバーの十二名とな
ってしまっただ。
黒川先輩(23T)長谷川先輩
(26C)には、毎年ご出席頂き、本
当にうれしく又喜ばしいことであ
ります。



DEPARTMENT OF MEDICAL & NUTRITIONAL SCIENCE

新年会を始める前に、年度中間
の役員会として、半年間の活動経
過、今後の活動計画などについて
話し合い、黒川先輩には、新会則
となつて初めての「喜寿」のお祝
いを贈呈したことを確認し、大竹
氏の会社工場の増設竣工祝いとし
て、近畿会工から記念を贈呈す
る事を決定した。
新年会は、飲む程に酔う程に話
題の中心は、お互いの体調管理や
健康維持の方に流れるが、先ほど
の役員会のことも話題になったり、
宴席は楽しく盛り上がった。
この新年会では、ふるさと会津
の懐かしい郷土料理が頂けること
も嬉しい楽しみの一つなのです。
安達ヨシ子さん(35K)の「好
意で、懐かしい会津の料理「豆数
の子」をご馳走になります。「いつ
も申し訳ありません。」と感謝し、
昔の「おふくろの味」を思い出し
ながら、本当に美味しい「もの」で
すから、お酒にも話題にも、一段
とはずみがついて賑やかになって
きます。



近畿会工の歩み

【生い立ち】
藤田 正次 (1936) 昭和13年5月
修学旅行で大阪へ来た時 先輩
の歓迎を受けた。
神田 忠志 (1936) 昭和14年5月
修学旅行で大阪へ来た時 先輩
の歓迎を受けた。

【歴代会長と年代】

初代 長沢 興学 (1936)
昭和34年6月7日近畿会工設立
会工名簿によると昭和36年6
月4日近畿会工設立となってい
るが昭和34年6月7日である
(資料より)
2代目 沢口 善市 (1974)
昭和49年まで
3代目 鈴木 和雄 (1974-1977)
昭和49年より 昭和52年まで
4代目 井上 武美 (1978-1981)

郡山会工

幹事長 金田 寛
(昭21M卒)

去る五月十七日(土)「三松会
館」において、平成二十年度定総
会を開催しました。
参加者は少なかったが、新しく
前会津工業高等学校校長・熊田良治
先生が入会され、会員・来賓の
方々の大歓迎で総会が盛り上がり、

昭和53年より 昭和56年まで
5代目 原田 利良 (1961-1984)
昭和56年より 昭和59年まで
近畿会工会休眠
昭和59年より 昭和62年まで
昭和62年2月24日(大洋ハトメ
に集合) 藤田 正次氏、阿部氏、
武田氏が中心となり近畿会工会再
興に乗り出す。
昭和63年6月13日 京都祇園ホ
テルに有志25名集合武田良雄氏を
議長とし沢口、鈴木、井上元会長
出席 臨時復興総会を開く。復興
世話人、事務局を決定した。
6代目 若林精二郎
昭和63年9月25日(1986) 近畿
会工総会を開催した。再興完結。
以降8年間平成8年6月2日
(1986) 現在に至る

活気にあふれた総会になりました。
今後前校長の助言のもとにこれ
から卒業してくる後輩に期待され
る郡山会工を築いていきたいと
思っています。
来賓は次の方々にご出席いただ
きました。
会津工業高等学校校長
渡邊 秀雄校長先生
会津工業高等学校同窓会副会長
手代木利夫様
” 同窓会事務局長
真田郁夫先生
東京会工顧問 板橋 桂様
会津工業高等学校の活躍ぶり、
指導の重点、又同窓会の最近の動
きと事業、東京会工の現況など
具体的に報告いただきました。会
工生・同窓生の伝統を重んじる
「世々受け継ぎし会津魂」がひしひ
しと感じ、有意義な集いであつた
と思います。
◎事業計画(平成二十年度)
・総会 五月十七日(土)
「三松会館」
・総会資料送付
六月十六日 総会欠席者全員
・第五回ボーリング大会
六月二十一日郡山ミナミボール
・第一回役員会 七月 三松会館
・同窓会出席者決定、その他
・会工同窓会定期総会 十月
二名出席
・第二回役員会
平成二十一年一月 三松会館
・同窓会総会報告 その他
・第三回役員会 三月 三松会館



定例総会 (三松会館)

◎役員改選について
(平成二十年、二十一年)

・会長 荒井 久 留任
・副会長 安田 久夫 留任
・ 昭和十八年M卒 留任
・ 渡部 節夫 留任
・ 昭和十六年K卒 新任
・ 幹事長 金田 寛 留任
・ 昭和二十一年M卒 留任
・ 会計 佐藤 亨 留任
・ 昭和三十八年C卒 新任
・ 事務局 菊井 徹哉 留任
・ 昭和五十八年D卒 留任
・ 幹事 鈴木 芳文 留任
・ 昭和二十年C卒 留任
・ 泉田 和男 留任
・ 昭和二十五年C卒 留任
・ 天井 清 留任
・ 昭和二十六年C卒 留任
・ 福地 勝 留任
・ 昭和三十年M卒 留任

同窓一万五千

至誠勤労

・監事 小柴 久治
昭和二十四年M卒 留任
藤沼 嘉典
昭和三十三年T卒 新任
◎第五回郡山会工会ボーリング大会
六月二十一日(土) 郡山ミナミ
ボーリング第五回大会を開
きた。参加者は
八名で年配
者が多い
が、初参加
の前会工校
長熊田良治
先生が優勝しました。
成績は次の通りです。
・優勝 熊田 良治
前会津工業高校校長
・二位 関 貞雄
昭和二十六年建築卒
・三位 安田 久夫
昭和十八年機械卒



福島会工会 総会報告

幹事長 神田信之
(昭31M卒)

平成十九年度の総会を去る三月十五日福島市内のホテルにて参加者十八名と本部から手代木副会長、熊田校長先生、梨子本事務局長にご出席いただき開催しました。まず来賓挨拶で手代木副会長が在校生に対し噴気を促す趣旨で鶴賞、松江賞に加え今年から「同窓会賞」を新設し、各クラス一名で七名が受賞の報告。熊田校長先生からは、「仕の掟」の継承は勿論、会工生として品格を見につけるため、下記の三つの指針を掲げ指導に当たっている旨の説明がありました。

- ① 挨拶がキチンとできること。
- ② 校歌は四番まで歌えること。
- ③ ものづくり、資格取得、文武両道で学校生活を充実させること。

引き続き、在校生の就職内定状況について報告があり、県下一の高内定率である旨の説明を受け、この面でも会工健児の素晴らしさが評価されている現状を聞いて、出席者一同に誇りと安堵の笑顔が見られました。

梨子本事務局長からは、長年にわたり同窓会の皆様にご協力を得て事務局を担当してきましたが、こ



平成19年度総会 平成20年3月15日 18名出席

福島会工同窓会のあゆみ

年号	元号	行 事 な ど	摘 要
1962	昭37	4月福島会工同窓会発足 (母校60周年記念事業の成功を期して発足) 会員数28名	初代会長 栗村市郎氏 (T18T) 副 会 長 星 栄祐氏 (S18M) 副 会 長 渡辺陽一氏 (S21L) 幹 事 星 武氏 (S27E)
1963	昭38	職域会工会との連携強化により会員増を計り 会則及び名簿を作成する。福島市上町万清に て総会を開催 (年1回の総会開催等の承認)	職 域: 北芝電機 19名 東北沖電気 8名 トーアエイヨ 7名 北東衡機 4名 日東紡(福島) 8名 官庁関係 5名 自営業他 14名
1971	昭46	初代会長 栗村市郎氏死去 二代目会長 星 栄祐氏就任	ホシ製作所社長
1986	昭61	第24回総会開催 星 栄祐氏会長辞任 三代目会長 星 武氏就任 会員数120名	キタシバ技研社長
1987	昭63	前会長星栄祐氏知事表彰受賞祝賀会	
1988	平1	前会長星栄祐氏勲五等瑞宝章叙勲受章祝賀会 副会長 渡部陽一氏逝去	
1999	平11	100周年記念を主眼に総会を開催	同窓会本部より3名参加
2000	平13	100周年記念行事の成功を期して総会を開催 100周年記念行事に関する募金活動	同窓会本部より4名参加 当地区11企業への訪問

過去の苦難との戦いの実例をあげて説明があり、それを持ち越えてきた経緯と現状について披露された一面もありました。

最後に定番ですが幹事が用意した校歌、応援歌の歌詞を確認しながら声高らかに合唱し次回での再会を期して散会しました。
反省として、同窓会へ一人でも多くの出席者を募る方法と、定期開催について検討して行きたいと思えます。

坂下会工会

会長 大堀順一
(昭27C卒)

総会は9月3日(月)に母校の渡邊校長、本部同窓会、湯川会工会、地区OB会会長等のご出席のもと盛大に行なわれました。今年度は設立して30年と記念になる節目の年であったので、松江春次翁の語りべを、会津若松在住でサイパン生れの菅野栄子様を講師にお呼びし、語っていただきました。さらに記念の校章入りの手ぬぐい(紫紺の布地に、校章・文字は白抜き)を安藤染店のご協力により作成。総会当日にご披露し会員相互のきずなを深めました。



昭和54年8月 坂下会工会 設立総会



坂下会工会・設立30周年記念タオル

氏、前々会長・佐藤政利氏の両名に感謝状を贈呈いたしました。そのほかの活動としては、今年度、坂下地区の新生10名に、6月にちなまれた地区PTA総会時に記念品を贈呈いたしました。また8月24日には、坂下五校による親善ゴルフ大会を開催し親睦をはかっております。

今年度の役員は次の通りです。
常任顧問 江川一正・佐藤政利
会 長 大堀順一
副 会 長 佐藤 実 佐藤悦朗
幹 事 長 猪俣勇一 甲斐光威
副幹事長 梨子本傑 安藤信之
監 事 高久俊昭 五十嵐一夫

猪苗代会工会 総会開催する

会長 菅沼淳一
(昭36E卒)



定例総会 新生旅館にて

猪苗代会工会は平成7年1月に発会し今年で14年目になる。各地区にはそれぞれ連絡責任者を配置し、連絡体制の適確化をはかっている。

会の最大のイベントとなる総会は、去る10月26日、町内の「新生

旅館」において開催した。総会は会員16名参加のもと、本校同窓会からは、梅津会長に代わって手代木副会長、若狭幹事長、また本校からは熊田校長先制、若菜教頭先生、梨子本事務局長のご臨席を賜り盛大に開催された。議事に先立ち来賓の各氏からそれぞれの現況・課題などについての説明を頂いた。引き続き校歌斉唱後議事に入った。主要議題としては、19年度の事業経過報告、収支報告、続いて20年度の事業計画について協議が行われた。

事業計画については執行部提案の通り、

- 一、本校同窓会への参加協力
- 二、会員相互の親睦事業
- 三、新会員の勧誘事業

について承認され、三本柱として取り組む事とした。

なお、当会においては若年層の会員が激減しており、会員全員参加のもと効果的な勧誘活動を展開することとした。具体的展開については別途ピックアップメンバーにより検討する事が決定された。

引き続き懇親会に入り出席会員の近況報告を含めた自己紹介、また学生時代の厳しくも懐かしい、想い出に話が弾み晩秋の猪苗代の夜は更けていった。

最後には恒例のがんばれ応援歌をカラオケに併せ熱唱し、お互いを励まし合い来年の総会で再会を約し、それぞれの「わが家」へと帰って行った。

湯川会工会

会長 菅沼章生
(昭29C卒)

平成17年に山口瑞穂前会長より引き継いではや4年目になりました。現在活動は佐野幹事長と二人で、本部とのかかわりを重視しながら会の組織を運営しております。

9月3日には隣町の坂下会工会に招待され親睦を深めることができました。

西会津会工会

会長 鈴木 仁
(昭21M卒)

平成17年5月の総会時就任以来、早3年の年月がたちました。その間、諸事情により総会を開催することが出来ずにいます。今年度は本部と連絡をとりながら、是非開催したいと考えております。

母校職員 鶴友会

会長 長崎 敏秀
(昭44G卒)

三月の教職員定期異動により、梨子本傑(41K卒)が退職、山野敏(49G卒)、渡部訓生(平8E卒)両名が転勤され退会しましたが、四月より田中哲(平7A)、中丸淳(昭55K)が加わり、母校職員としてのOBは11名で組織・運営されています。したがって本部同窓会の事務局になります。

一意専心

建友会

会長 小山源昭
(昭38 A卒)

建友会は会工建築科の卒業生で組織され、毎年2月の最終土曜日に定例総会を、東山温泉にて来賓含め二百名位出席し開催しております。

その事業活動として、総会の他に各科のOB会の総会に来賓として出席してお互いの親睦をはかっております。さらに会員有志定例会や親睦旅行を行なっています。親睦旅行については年1回、30年以上続いております。



電友会

会長 荒明正義
(昭30 E卒)

会工電友会、第13回総会、平成19年10月20日会津若松市内の、ホテル・ニューパレスで開催しました。

会員ら31名が出席、事業報告、会計報告、事業計画、会計予算、等の審議と役員改選を行いました。

平成20年3月1日の卒業証書授与式には、電友会より4名出席

しました、今年の卒業生は39名で、就職28名、大学、専門学校等の進学11名で、全員元気いっぱい新たな人生に向って旅立ちました。

卒業に際して、学校関係、同窓生の皆様から「卒業生に贈る言葉」をお願いしたところ36名もの方から、人生の豊かな経験を踏まえた貴重な言葉を沢山いただきました。その原稿をコピーし製本したものが「卒業生に贈る言葉」の冊子です。

卒業式終了後、3年電気科の教室で、担任の海和先生と同窓生、ご家族立ち合いのもと電友会入会式を行い、記念品として「卒業生に贈る言葉」の冊子と「ボールペン」を生徒代表のホームルーム長に手渡しました。

夢と希望を持って巣立った卒業生の前途に幸多かれと願ひ、同窓生皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、電友会のご報告といたします。

福島県立会津工業高等学校
平成二十年三月一日
卒業生に贈る言葉
電友会



機友会

会長 栗城和夫
(昭41 M卒)

会津工高機械科卒業生で作る会
工機友会総会7月5日(土)、会津若松市のホテルいづみやで開催しました。

機械科に5万円
会津工高機械科
同窓会が激励
会津工高機械科の同窓会「機友会」は二十五日、母校の機械科に激励金五万円を贈った。

高校生ものづくりコンテストなどで活躍が期待される後進を支援するための寄付。機友会の栗城和夫会長、佐藤義之副会長、荒川富上雄會計が同校を訪

機友会
栗城会長(右から3人目)
渡辺秀雄校長、平山賢美機械科主任が同席した。

福島民報提供



約10人が出席し、栗城和夫会長があいさつし、昨年度の事業が報告されました。

親睦会の開催、会員増強、講演会の開始など今年度の事業を決めた。

総会後、渡辺秀雄校長、手代木利夫代表副会長ら来賓を交えて懇親会を開いた。

セラ友会

前会長 坂場恒雄
(昭34 K卒)

今年度の「セラ友会」総会は、7月19日(土)、会津若松市内のホテルいづみやで総会を開催、本年度の事業などを決めました。来賓、会員40名出席。議事では来年度、設立10周年に向けての記念事業、本部同窓会、同校のセラミック科、セラミック化学科への支援協力、会報誌の発行、各種研修会を実施することなどを盛り込んだ本年度事業計画を決めた。また、新会長に渡部洋子氏(昭32 K卒)、新幹事長に斎藤四志男氏(昭34 K卒)の新体制で運営されます。



第9回総会 ホテルいづみや



セラ友会から感謝状贈呈



坂場会長・佐藤幹事長
退任あいさつ
渡部新会長 就任あいさつ

美修会

会長 白井 充
(昭42 L卒)

去る三月二十二日、ホテル「いづみや」にて午後六時より定期総会を開き、前年度の会計報告及び本年度の事業報告を行った。

本年度の事業として、会員間の親睦を深める為「春の花見会」「秋の芋煮会」等を行う。その後、熊田校長先生、梅津同窓会々々長等多数のご来賓の方々の御出席のもと懇親会を行い無事本年度の総会を修了致しましたことを御報告申し上げます。



又、美修会副会長の儀同哲夫氏、会津塗重箱「ブルーダイヤ」で、全国伝統的工芸品公募展で栄えある内閣総理大臣賞を受賞し、

三菱伸銅鶴友会

会長 木津光右
(昭49 E卒)

会津工業高等学校の皆様には、日頃より大変お世話になっております。最近の三菱伸銅株式会社若松製作所の鶴友会活動状況についてご報告します。

本会は、会員の親睦を最優先に活動しております。新入社員歓迎会や2年おきの旅行を計画し、北海道、大阪等へ数多くの参加者を得て行っております。昨年は2年に一度の旅行の年でしたが、臨時休業のため一泊二日の旅行は中止しました。

現在会員は135名です。今年も会工卒の新入社員が3名入社しました。5月には新入社員歓迎会を盛大に行い、親睦を深める場となりました。

時々、母校の後輩たちが工場見学に訪れておりますが、大いに当社を見学していただき、益々多くの後輩たちが入社されることを期待しております。

日立会工会

幹事長 目黒和利
(昭30 E卒)

日立会工会は暫くぶりで平成19年11月8日に開催しました。

今回は、日立製作所及び日立関連会社のOBの方々に開催案内を送り、22名が母校よりお送り頂いたCDから流れる校歌を耳にしながらか会場にお越し頂きました。



平成19年 日立会工会総会
日立市 東映館 11月8日

REPORT & MESSAGE

威風堂々

一生懸命

乾坤秀雲

総会開催に当たっては、母校同窓会事務局の梨子本先生にご連絡し、母校の現況、会工同窓会報などの資料をお送りいただきました。この資料をもとに「総会しおり」を作成して参加者に配布し、懐かしい母校の新旧の写真など眺めながら、楽しい歓談をする事ができました。

その中で全員に現況のスピーチをお願いしたところ大変バラエティに富んだ内容で、『なれない畑仕事に精を出す人、そば工房をやっている人、ゴルフに打ち込む人、釣に夢中になっている人、まだまだ仕事を続ける人、中には毎日1万歩を実行している』等、全員が定年後に訪れた余暇を楽しみながら充実している生活の様子が紹介されました。

非常に有意義な内容のスピーチでした。次回からは年に一度は開催し、現役の方々にも声をかけ、また母校よりの参加なども考慮に入れながら更に充実した総会にすることを確認しました。

最後になりましたが、今回の開催に当たり、梨子本先生には、母校の資料、その他につきましても大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

日曹会工会

元会長 瀬田晃旬
(昭44K卒)
日曹会工会は、日曹金属化学

(株)会津工場に勤務する会津工業高校同窓生で構成され、S44年度電気科卒業の岡戸進一郎会長を筆頭に、S44年度化学工学科卒業の永野副会長そしてS46年度機械科卒業の大谷副会長の他37名の会員で活動しており、平均年齢は36歳です。

歴史は古く、S36年から活動して46年になります。会員は優秀な人材が多く会社の重要な職務を任されており会工会への今後の期待は更に深まっております。

会の大きな目的は、『会員の相互の親睦を深め、母校並びに会の発展を図り、会社の大きな期待に寄与する事』と規約にも記載されております。

会の活動内容を紹介します。4月上旬に総会を実施し、新役員体制と活動計画が決定されます。4月から5月には、新入会員歓迎会を実施し新たな会員との親睦を図ります。

8月か9月には研修旅行が企画され、昨年度は東京モーターショーを見学して自動車業界の改善の意欲と活気あるところを研修しました。

年が明けて1月には新年会を開催し酒を酌み交わしながら新年の挨拶が行われます。3月には、工場長を迎えて催される東山温泉での親睦会があり、ほぼ全員の8割以上の出席者があり先輩の今までの経験話とか、最近の会員は、団体で行動する

事を苦手としている人が多く、何かと会を纏めていく事は大変な事です。役員を中心としながら会員相互の親睦と会社に信頼される人材育成そして母校の発展に寄与できる体制作りを更に進めていきます。

当会社の事業は産業廃棄物処理を中心としながら亜鉛、鉛事業として有機合成で作られるビスフェノールS製造などを実施しておりますが、特に産業廃棄物処理でご相談のある方は当社日曹金属化学(株)営業まで電話連絡をお願いいたします。

最後に我が母校、会津工業高等学校が益々発展し生徒が健全に育成されることを願い筆をおきます。

若松ガス会工会

今年、若松ガス会工会は会社の事情により解散することになりました。今まで本部同窓会へ支援協力をしてまいりましたが、会としてはできなくなりましたので今後は一会員として協力してゆきたいと思えます。

尚、六月初め、会の残金4万2167円を本部同窓会へ活動資金として寄付させていただきました。本部同窓会がますます活潑に運営されるよう期待します。

東京電力会工会

川俣将仁
(平5D卒)

東京電力(株)猪苗代電力所の浜通り地区を含む県内6事業に勤務する卒業生で構成され、平成20年6月現在51名の会員で組織されています。

年間の活動としては毎年8月に市内「割烹 萬花楼」にて総会を開催しています。また新年会は3月に一泊二日旅行を兼ねての会合を行なっており親睦を深めています。

三菱製鋼広田製作所会工会

会長 古川義市
(昭48K卒)

我社の会工会は昭和48年に発足して今年で36年になります。その間合理化等何度か解散の危機に会いましたが、ここに会社がある以上解散だけは避けようという事で現在に至っております。

会員は23名おりまして、会長1名、幹事2名、会計1名という体制です。年間行事としては、2月に総会、4月花見(新人歓迎会)、7月暑気払い、9月旅行12月忘年会等を行っており会員の親睦を深めあっております。

今年は、旅行を少し早めて、7月21日、22日と岩手県の大沢温泉



REPORT&MESSAGE

昭和電工鶴友会

会長 山口栄喜
(昭46E卒)

日頃より会津工業同窓会には何かとお世話になりお礼申し上げます。

当東長原支部は磐梯山を間近にした緑豊かな地域環境にある河東町東長原長谷地区にあり、この昭和電工の敷地には、昭和電工(株)東長原事業所とキャボットスパーメタル(株)会津工場、中央ケミカル(株)東長原工場等の各社があり、有機化学や無機化学などの化学工業製品と電子材料等の非鉄金属関係の製造を行っており、現在の会工同窓会の会員数は55名で、各会社の責任ある職場で昼夜活躍しております。

このように各企業に勤務している会工会の同窓生で、会工同窓会東長原支部を運営しているものですから、各会社より幹事を選出し、支部長並びに副支部長等を決め、会員相互の親睦を図り、情報の交換と自己啓発に努めることを目的に活動を行っております。

近状の活動状況をご報告申し上げますと、「会工同窓会東長原支部

OB会

バレーOB会

会長 大越一郎 (昭35E卒)



設立50周年 1月13日 料亭「米熊」にて

会津工高バレー部の活動支えるOB会が設立50周年



50周年の節目を祝った記念式典



寄贈したバレーボール部の旗

後輩に部旗寄贈

野球部OB会

会長 室井勝己 (昭30A卒)



会津工高野球部に20万円贈る

野球OB会は7月9日・同校野球部に20万円を寄付した。同会は昭和50年頃から毎年高校野球福島大会前に寄付金を贈っている。贈呈式は同校で行われ、室井会長・乃木幹事長が同校の渡邊校長・野球部八巻顧問に寄付金を手渡した。

福島民報提供

根性一途

獅子奮迅

サッカーOB会

サッカー日本一を報告



提供 福島民報

滋賀県守山市で九月に開かれた日本スポーツマスターズサッカー競技で優勝したFCプリメーロ福島レジェンドのメンバー、飯塚裕さんと中島和一さんの二人が六日、会津坂下町役場に竹内是俊町長を表敬訪問し、日本一の喜びを報告した。

クラス会

会工十八会

影山五郎（昭18L卒）

第21回の会工十八会を芦ノ牧で開きました。八十路を越した今年は7人の出席でさびしくもありました。宴会後は医療制度等老後の不安を抱きながらの散会となりました。



染織科卒一八同級会

武田信孝（昭23T卒）

卒業年度が学制改革の過渡期にあり旧制中学は23年卒、高校編入者は24年卒と为了ため、入学年度の昭和18年度から一八会とした。



芦ノ牧温泉・大川荘にて

24・25年卒漆工窯業科同級会

佐藤政利（昭24L卒）

昨年、喜寿をお祝いして同級会を開催しました。同級生でもある恵日寺の住職にお払いを受けた後、懇親会を芦ノ牧丸峰ホテルにておこないました。遠くは大阪よりかけつけてくれ夜遅くまで懇親を深めました。



会津工業職員OB会 会工元気会

この会は福島県立会津工業高等学校（会工）に在職した退職教職員（会員）で組織し、目的は会員相互の親睦を図る。

- | | |
|-----------|-------|
| 会長 芳賀沼陽一 | 大山 次 |
| 副会長 渡部 正男 | 小林 満美 |
| 幹事 荒井 忠夫 | 高橋 繁 |
| 監査 吉田 孝男 | 三原 敏男 |
| 宮崎伊都夫 | |
| | 橋本 英雄 |
| | 江花 光泰 |
| | 斎藤四志男 |

総会は毎年10月を目安とし、経費は年会費をもって基金とし、総会費はその都度徴収する。

DEAD END OF MESSAGING

M30機友会

折笠瑞寿（昭30M卒）
会津若松市の会津工高機械科昭和三十年卒生でつくる「M30機友会」は八月三十日、同校に航空写真を寄贈した。

贈呈式は同校で行われ、折笠瑞寿さん（71）、江口満さん（70）が熊田良治校長に写真を手渡した。熊田校長は「生徒と職員で活用します」とお礼を述べた。
写真は縦約五十七センチ、横八十七センチ。六月にヘリコプターを使って上空から撮影した。同校をはじめ、鶴ヶ城や中心市街地をひと目で見るができる。同校の玄関に飾る。



航空写真を贈る折笠さん（右端）と江口さん（左から2番目）

クラス会

荒明正義（昭30E卒）

平成19年10月30日・31日、いわき市新舞子浜かんぼの宿「いわき」にて大沢信義先生をお招きして開催いたしました。今回は16名の参加でした。



32年卒電気科クラス会

岡村 進（昭32E卒）



平成20年4月ホテル「いづみや」にて一泊。翌日母校を訪問しました。

41年卒機械科クラス会

栗城和夫（昭41M卒）



6月26日・東山新滝にて12名参加 毎年開催しています

41年窯業科卒

長谷川利彦（昭41K卒）

急であったが、7月5日に市内居酒屋にて、相馬駒焼15代陶主田代法橋氏を囲んで夜中まで飲みあかして懇親を深めました。次回、相馬で会合を行なうことを決め散会しました。



クラス会

木津光右（昭49E卒）

ところで私事ですが、恩師の本田毅先生が退官され第二の人生を奥様と一緒に猪苗代で「有」ホンダワイナリー」ワイン工房あいづ



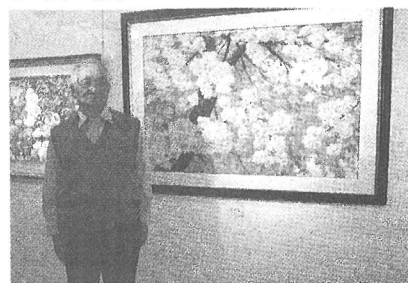
会津在住の幹事会（5月）

※クラス会の様子・写真等を事務局までお知らせ下さい。

質実剛健

今年度受賞・活躍された方

でいる。来場者は、春のイメージあふれるさわやかな水彩画に見入っている。



福島民友提供

会津の桜などを描いた水彩画を展覧

柳津出身の小川さん

柳津町出身の日本水彩画会鉚路支部長、小川彰一さん（85）の水彩画展は22日まで、会津若松市の「ギャラリー アブドウ」で開かれ、会津や北海道の美しい風景を描いた作品が来場者を楽しませている。

会場には、鶴ヶ城の桜を描いた「花見帰り」や「満開」のほか、アトリエを構える鉚路市の「鉚路湿原」など、2007（平成19）年に描いた新作を中心に約50点が並んでいる。

小川 彰一
（昭15C卒）

個展 さわやか水彩画

94才で現役で頑張っています。



今井 喬（昭4K卒）

石英管の製造法など 数件の特許を取得

新・除草ぐわ開発

堤 新・除草ぐわ開発 堤 章（昭16C卒）
若松の改良重ね全国へ発信
堤製作所 堤 章（昭16C卒）
会津若松市のくわなど農具・園芸道具製造の堤製作所堤章社長は、新しい除草ぐわ「赤磐梯」を考案し、発売した。くわの両端にあるのこぎり状の切り込みで雑草を根っこから抜く機能性と、磐梯山の形の赤いデザインが特徴。昔ながらの製造技術を土台に改良を重ねた「会津発」のアイデア農具として全国に売り出した。



自慢の「赤磐梯」をPRする堤社長

福島民報提供



タヒチ・ヌイ・コマンド勲章受章 室井 忠六（昭24T卒）

昨年六月二十九日、室井元会長が、フレンチポリネシア領、タヒチ島の首都、PAPETEの大統領府において、タヒチの真珠養殖産業の発展に多大な功績を残したとして、タヒチ大統領より最高位の勲章を授与されました。また、平成十六年には水産功績賞も受賞しています。

会津の誇り 現在に伝承

宗像 精（昭26L卒）



宗像 精さん

「ならぬことはならぬものです」で知られる、会津藩士の子弟に対する心構え「藩士の子弟に対する心構え」を、あるべき「什（じゅう）の掟（おきて）」を強調した。宗像さんは、会津若松市とに背いてはなりません。教育長を務め、会津が誇るなど七カ条からなり、会津藩校日新館に入学する前の六歳から九歳の子どもが、地域ごとにつくっていた組の規則として守っていた。

「什の掟」藩の基礎に



なる若松調停委員懇話会との合併などの歩みを編集歴代会長や裁判官、OBら活動に携わった人たちの紹介、調停件数の推移などの記録もグラフを交えまとめた。A四判で百四十五ページ、三百部を発行した。記念史は関係者や図書館などに寄贈するという。編集に携わった同協会の鈴木信雄さんは二十五日、記念史発行のため福島民友新聞社若松支社を訪れた。鈴木さんは「二年半かけ編集した。資料集めに奔走し、全国の関係者に当たるなどして歴史をまとめた」と話した。



記念史を手に報告した鈴木さん

福島民友提供

会津若松調停協会史発行 鈴木 信雄（昭27C卒）

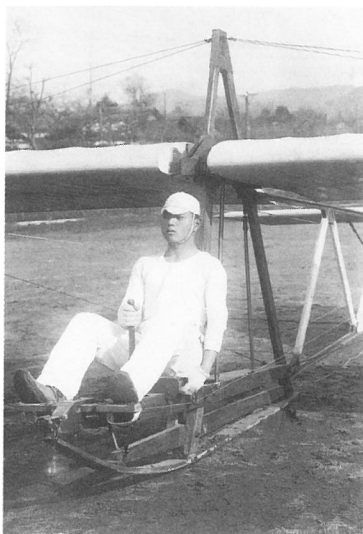
会津若松調停協会（東條貞一郎会長）は二十六日までに、長年の活動を支えた記念史を初めて発行した。

記念史は同協会の前身と



会津工業高校建築科 昭和61年度卒業同窓会

61年度卒業建築科同窓会 渡部敏行（昭62A卒）
卒業から21年目を向かい、20年という大きな節目から新たな一歩とすること、初めての同窓会を平成19年9月22日に開催しました。当初、何人の人が参加できるのか？と不安を抱えスタートした準備について、参加を募ることに多くなり、39名の卒業生に対し、22名の参加がありました。担任の神田先生、副担任の渡部先生を交え、21年ぶりの旧友と再会し、多くの懐かしい話に花を咲かせ親睦を深めました。



グラインダー部（昭和20年）

写真提供 星 榮祐（昭16M卒）



東京会工会より桜苗木記念植樹 平成17年3月
写真提供：荒井士郎（昭34K卒）

想い出の写真



写真提供 大堀順一（昭27C卒）
サイパン松江春次翁銅像を訪れる会 坂下会工会主催 平成13年4月



元・東京会工会会長、第14代同窓会会長 佐藤勝次氏 喜寿の祝賀会 昭和53年4月



第五回会工会総会記念 昭74 万代

会工会総会記念



電子科閉科式 平成14年2月

写真人物伝

絵付けの第一人者 坂内文石



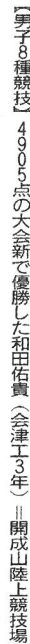
会津工業高校の前身である本郷窯業従弟学校は明治28年に創立された。その創設当初から教員となり、窯業の発展と人材の育成に捧げた先生でありました。やきものの絵付けの第一人者。校内に坂内文石氏記念碑が建てられています。

校歌作詞 山村弥久馬

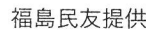
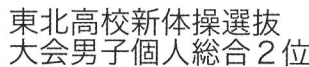
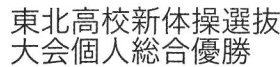
明治29年11月に福島県会津尋常中学校校長に赴任。四年半在職。校歌制定時の作詞は吉田智・山村弥久馬両先生の名前が併記してあります。



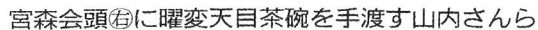
化学工学科三年 和田 佑貴



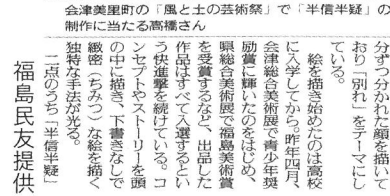
建築科二年 根本直樹



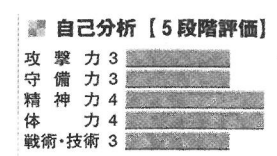
陶芸部



セラミックス科3年 高橋 克幸



サッカー部



会津魂を持った生徒が多く、粘り強いサッカーが持ち味。堅実なディフェンスで少ないチャンスを得点につなげ、勝利することが目標。強豪ばかりなので毎節が厳しいゲームとなるが持ち味の精神力で勝ち点を重ね、上位進出を目指す。

人がつくる



母は手島家の次女であつた。

手島精一「伝に依れば明治の始めの開港に幼くして渡米し、学識を身に付けるに及び教育の重大性を知り、日本の後進国憂いを抱き、帰国後文部省の官吏となり、教育に情熱を傾けた。」

世界の万国博覧会には主席官僚として幾西米諸國に渡航し世界の新しい技術に接し、日本の工業の基礎となる人物の養成が必要欠く可からざるの要件を痛感し奮起せざるを得なかつた。

當時の日本は親方、弟子の徒弟制度で寺子屋式教育が技術の教授であつた。個人対個人の教育では日本の工業を發展させることはできないと考へ、徒弟制を学校の教師と生徒の近代化に切り換へての技術学校を創立した。これが東京工業高等学校であつた。この学校を世間は東京浅草蔵前に在つたので蔵前工校と呼んだ。そして「煙突のある所には蔵前あり」と云われ評價された。

日、同校は昇格して東京工業大学になり、日本手島精一は蔵前工校の初代校長であった。後の産業界に実業界をリードする人物、名を爲した多くの人物を輩出した。東工大の東京目黒大岡山の校舎の正面玄関には手島精一初代校長が腰掛けている銅像がある。

手島精一は祖父になるが、私は幼くして面接したと思うが、全く記憶なく、後日、彼の伝記を読み、今日頭に残る彼の信条に『利は里から

contribution

第24代校長 熊田 良治

（「会工の教育」誌第34号より転載）
会工創立105年の歴史の中で85年間に渡り歌い継がれてきた校歌・応援歌、そして新しい伝統である会工賛歌をとりあげたい。

1 会工校歌について

年、創立20年目）、作詞は吉田智・山村彌久馬の両先生、作曲は新潟師範学校である。会工百年史によると、大正10年9月、校歌が欲しいと懸賞募集してでも作りたいとの希望が生徒の間に充ち満ちて、学校当局は大正11年2月に校歌歌詞の募集を行った。

校歌には作詞者として「吉田智」氏、「山村彌久馬」氏のお二人の名前が併記してある。本

ボクシング部



(福島明成)
 ◇フライ級 ◇決勝
 菅家 利允 ボイン 渡部 哲也
 (会津学鳳) (ト勝ち) (会津工)
 ◇パンタム級◇遠藤智秀(会津工)
 ◇フェザー級◇山台拓(会津工)
 ◇ライト級◇▽回戦
 熊倉 正敏 ボイン 佐藤 大地
 (福島明成) (ト勝ち) (会津工)
 ◇決勝
 熊 倉 ト勝ち 北島 裕喜
 (会津工)
 ◇ライトウェルター級
 齋藤 晶 ボイン 阿部 靖杜
 (会津工) (ト勝ち) (福島明成)
 ◇ウェルター級◇齋藤健司(会津工)
 ◇ミドル級◇大堀秀隆(会津工)
 ◇団体①会津工11点②福島明成
 ③会津学鳳
 (会津工は3年ぶり4度目の優勝)

校教諭である吉田智先生は、同年3月、旅の列車の窓から、磐梯の霊峰と猪苗代湖の精気に接しつつ会津の歴史を思い浮かべ、豊かな自然環境と深い郷土史に誇りを秘めた雄大な構想を抱き、それを親しみやすい歌詞として、車中で6句3節に纏め上げた。これが今の校歌のもとになっている。直後に川俣工業学校に転動したため、引き継いだのが山村彌久馬先生である。山村彌久馬先生は、大正11年から2年余り教授嘱託として在職し、その時に校歌歌詞を手がけられた。漢字に造詣の深い山村先生は、吉田先生の歌詞を4句4節に格調高く歌い上げ、これが現在の校歌となっている。

作曲は山村先生の下つてから新潟県師範学校に委嘱し、同年5月下旬には明快流暢な曲調を得ることができた。早速6月12日に会津女子高等女学校の田代美代子教諭を招聘し、全校生徒を講堂に集め、オルガンを借用して初教授となった。校歌を得た生徒達は欣喜してこれを迎え、これより以降、新入生への伝習は高学年があった

り愛校精神を大いに高めてきたのである。

ついでに山村先生について追記したい。山村先生は南国土佐の郷元の次男に生まれた。15歳の時に先輩から、戊辰戦争の折の会津人、特に婦女女子の節操の高さを聴かされ、会津への憧れを抱いた。その後、東京師範学校で旧会津藩士の高嶺秀夫校長から教えを受けて感動し、明治22年に、22歳の若さで県立若松中学校の初代校長として赴任した。会津に心惹かれ、会津の女性と結婚し、会津で子どもたちを育て、本籍も会津に移して、とうとう会津人になってしまった人である。岩手県・高知県・新潟県の校長、学習院教授を経て会津中学校（現会津高等学校）の3代目校長、新潟県長岡女子師範学校長、そして晩年に本校の教授嘱託を務められた。大正13年に没し飯盛山上の墓域に眠っている。

(2) 校歌の解釈

平岡19年 校長が国語科の星修一先生に協力を戴きながら、生徒が理解しやすい文体で解説文をつくり、平成19年から始業式や集会で活用している。

解釈の仕方には色々ともあるうかと思うが、生徒に説明する際の際の参考にして頂きたいことに掲載するものである。

※校歌の解説例

①嶺は秀^{ひで}づる磐梯山
…他より拔^ひきんてて高い磐梯山

水は湛^たふる猪苗代
…満々と水を湛^たえる猪苗代湖

これぞ乾坤秀^{ひで}靈^{たま}の
…この会津の地は、天地の優れた力や

精^{せい}氣^き 錘^あり成^{なり}る處^{ところ}
…万物を生成する力が錘^あつた場所だ

(※「錘^あり」…紡錘^あの意、糸によりをにかけて紡ぐこと、「乾坤」…天と地)

②明治三十七春なかば
…明治37年春半ばに

礎^{いし} 堅^しくき^ずずか^{れて}
…基礎がしっかりと築かれた

星霜^{せいそう}ここに幾^{いく}かへり
…長い年月が会工に流れても

平和の覇^は者^{しや}をはぐ育^はみぬ
…平和の旗頭(先人)を育てていくのだ

③身には白虎の粧^まを享^あけ

鶴を徽章におお雄々しくも
 至誠勤勞一すぢに
 誠実に心を込めて勤め
 進む健児の意氣高（工業技術の習熟）に励む
 会工生は血氣盛んで元氣がいい
 ④ 峙（そは）つ嶺は峻しくも
 高く聳（そ）える峰が峻しくても
 寄せ来る浪は高くとも
 打ち寄せる波が高くても
 （困難がいくら大きくても）
 奮闘の活舞台
 会工は生き活きと活躍する場だ
 これ我等の天地なる
 会工こそ我等の世界なのだ
 （※「ぞく」なで係り結び、なるで断定）

2 会工応援歌について

会工応援歌には、「鶏鳴三度」で始まる応援歌と「ガンバレガンバレ」で始まる頑張り応援歌がある。会工応援歌は、校歌制定と呼応して作られたようだが、詳細は不明である。会工百周年史には、「作詞は、大正12年に薬業科を卒業した「加藤四郎」さんの作品が多い」と示されている。

う。OB会を開催して下さった方々への感謝の気持ちとともに、バレーボールをやったという思いで、帰りの車中では一人大声で校歌や応援歌を唄いながら帰ってきました。

セラ友会に期待

前セラ友会会長 坂場 恒雄 (昭34 K卒)

セラ友会も平成11年の第1回設立準備から、平成12年7月5日の設立総会を経て、今年で第9回を迎えることができましたこと、厚く御礼申し上げます。

初代会長「坂内茂男様」が総会直前に体調を崩され突然総会欠席となり、何とか役員全員で乗り切ったことを思い起こしております。

当代会津では、不景気の上に公共事業費の削減で、土木建設業をはじめ、地場産業の漆器業界、酒造関係、観光業界にも倒産が続出しております。そして、都会と地方の所得格差は益々拡大し、政治の不信も高まり、さらに追い打ちをかけて、最近の原油高による物価値上がりで、先行きの生活も不安で、展望もない昨今です。

今年度から母校のセラミック科も少子化の影響で、セラミック科と化学工学科が統合され、セラミック化学科となり、定員40名で新しくスタートを切りました。前会長坂内さんが2期4年間を勤め、その後、私が2期4年間会長としての任務を果たしました。

一時は、設立10周年記念までと思いましたが、新セラミック化学科の卒業生が2年半後には、セラ友会に入会できるよう規約改正も行いましたので、前会長同様2期4年で職を辞し、次期会長に10周年行事をすべてお任せすることを決めました。

4期8年に渡る副会長・会長の任期中は、役員および役員の皆様には、本当にお世話になり厚く御礼申し上げます。セラ友会も今では全ての面で建友会に次ぐ規模になり会報発行、本校セラミック科への支援活動を行って参りました。さらに過去3年間でセラミック科が文部科学省指定の(目指せスペシャリスト)事業、天目釉茶碗の研究成果など、各方面で高く評価されま

したことはセラ友会として誇りに思います。今後は、一会員として大いに協力し、会の発展に寄与したいと思っております。新役員の方にも、私同様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。今後のセラ友会の益々のご発展と会員皆様のご活躍をご祈念申し上げます。本当にありがとうございます。

建友会と建築環境

建友会会長 小山 源昭 (昭38 A卒)

建築科卒業生で組織する「建友会」は、毎年2月に総会・懇親会が開催されています。本会は地元会津はもとより、県内外の会員に、母校の先生方と同窓会・PTA・代議士・市長・財界・賛助会とゲストの多い集いです。電友会、機友会さん他と比べ、建築科は進路と仕事が決まり安く、社会人となり仕事により会員同志の連携と絆が強い、特徴ある組織と言えます。

早いもので、建築科卒は60回を迎え、第1回卒の先輩は77才となりました。卒業回数が増せば比例して総会出席が増える訳ですが、ここ何年も変らなく、むしろ減少気味です。

改めて理由は何か考えさせられる要因があります。20世紀後半、右肩上り経済成長期の建設産業は、大人たちの勝手な都合と欲望により街を壊しビルを建て、山野自然を壊しリゾート施設を造ってきました。今更ながら当時の感覚は、錯覚と驕りの時代であり、あたかも建設産業が世の中を仕切っている勝手に思いこみ、傲慢なものだったと思います。あけくのは「建築そのものが環境汚染源」となってしまう。地球規模の問題となり大騒ぎとなっています。

経済産業的にもそれらの過ちに気付いても時既に過ぎ、とりかえしのつかない結果となり、特に地方の建設産業不況は悲惨な低迷が続いています。建友会への影響と因果関係を考えますと、当時の「花形」とまで言われた建築関連業は隆盛を極め、建友会も便乗し、慢心してたと思います。反面会員同志の絆は強力でありました。その後21世紀に入り、先輩たちは第一線から退きリタイヤし、総会出席会員の年齢差が広がり、先輩たちと構築した伝統と特徴を継承

するには穏やかではありません。年齢差が60年もあるれば人生感、社会生活感の格差はあってあたりまえです。これからの「ふるさと会津」を、そして日本を導く若い後輩諸君に所見を言わせて下さい。

日本の社会生活環境は、何かと言えばIT情報化、ハイテク化、ネット社会の世の中です。吉本興業タカアンドトシが「欧米化？」を流行ことばにしました。IT情報化現象の必要性は否定しません。しかしなぜそんなに重要視するか疑問に思えてなりません。

著名な多くの識者が「IT社会環境は、今の日本を駄目にしてしまう危険性がある」と言い、更には「日本人の心まで狂わせている危機である」と言っています。決して大袈裟でなく貴重な提言だと思います。

ハイテクも必要ですが、それよりローテクを重要視して頂きたい。職場のデスクでパソコンに向いじつとしている風景を見るたびに考えさせられます。これらの職場環境が社会を支えりドするよう「錯覚」を改めたいのです。今頃になり国民、政治家、識者「日本は世界に誇れるものづくり大国である」と言っています。まさしく母校は「ものづくり系の技能と技術の学校」です。有名大学や大手企業に進む道もあるでしょう。私が在校生と卒業した若い人に望むことは「お礼口さん」でなくとも結構、皆さんで特性をもち、アクティブな行動力を備え、これからの人生、社会生活を送って頂きます。

野球ではヒットの延長がホームランと言われる。オンラインワンが進化すればスペシャリストの可能性を秘めているのです。歴史と伝統ある会津工業での学びに自信を持ち誇り、これからの元氣な会津、元氣な日本へと導いて頂きたい。そして社会生活に欠かせない多くの人間関係と人脈をつくるため、建友会そして同窓生にも積極的な出席を待望すること結びとし、寄稿いたします。

スキルとライセンス

学校評議員 坂内 美佐子 (昭50 C卒)



50歳を過ぎてから転職しましたが、その際役立ったのが、在学中に取得した危険物でした。当時高校在学中でも受験資格があったのが、丙種のみでしたが、卒業後就職してから乙4類取得していたので、高齢でも採用されました。就職で大事なものは履歴書の書き方で、自分をより良く、充分にアピールしなくては成功しません。

たとえ、経験があっても、画面上ではライセンスがなければ、採用のチャンスを得られないし、面接までも進めません。経験だけの場合は「特技」で終わってしまいがちですが、資格取得に積極的な生徒ではなかったのですが「将来役立つから、持っていて邪魔にはならないから」と勧めていただいた先生方のおかげです。

合格に向けての指導もしていただきました。当時の先生方に感謝いたします。その後他にも資格を取得しましたが、在学中にチャレンジする意欲と合格のコツを教えていただけたと思っています。3年時には「水質関係公害防止管理者」を受験しました。

工業化学科、化学工学科の生徒が受験地の仙台市の仙台育英高へ先生方の引率で修学旅行のように行ったことが懐かし思い出されます。私の結果は不合格でしたが、2種・4種は合格した同級生もいてすいぶん悔しい思いをしました。

就職した会社が公害管理者受験を進めていたので、再挑戦しましたが、甘く考えていたもので、また落ちてしまいました。「高卒では無理」と考えられていた中で、普通高校出身の女性が一回で合格し「会工卒」のメソツツぶれてした。その後、一年間本気で勉強し一種合格できました。

東海会工有志による「味覚の旅」

東海会工会幹事長 三井 正春 (昭41 A卒)

岐阜県は長良川と木曽川が通っており、愛知県に抜けて、名古屋港の入り江となり、伊勢湾にそそいでおります。木曽川沿いの愛知県犬山市には、日本モンキーパークがあり、又「木曽川犬山鵜飼開き」は毎年六月一日から行われています。

又、長良川沿いの岐阜県では、五月の中旬から「ぎふ長良川鵜飼開き」を開幕しております。双方とも屋台船に乗って鵜が、鮎を捕まえる様子を見学しながら食事をし、お酒を飲みながら、鑑賞できる風情があるところで、有名な場所でもあります。

今回は、長良川の上流まで足を伸ばして板取川の、せせらぎを身ながら、天然の鮎を食べ、秘境温泉で癒すという企画を、計画いたしました。

名古屋から東海北陸自動車道を北上し、美濃市インターで降り、長良川の上流の板取川沿いに北へ、約三十キロほど車を走らせて行くと、洞戸村に着きます。この村にある高賀神社には、シドニーオリンピックの女子マラソンで優勝した高橋尚子選手が、優勝したときに飲んでいたという「高賀の神水」を汲むことが出来ます。当時の森総理大臣がこの神社に参拝された写真が、掲示されています。さらに北上し、通称「アジサイロード」を三十キロほど行くと、関市板取町に着きます。目的の天然の鮎を、食べさせてくれる、天然鮎料理・川の網元「おもだか」が、私たちを待っていてくれました。今回は家族同伴で企画いたしました。



したが、自己採点では各項目ともボーダーラインぴったりで、奇跡かと思えませんでした。一緒に受けた社員には「俺より総得点が少ないのに」と、羨まれました。今では、乙種の高にも多くの資格に挑戦でき、生徒のみなさんも在学中に出るだけ取得することをお勧めします。社会に出てから勉強する時間を作ることは大変困難です、講習の代金も高額だったりします。

卒業してから身にしみて分かったことは、何事もチャンスを得るには、自分が行動を起こすこと！ 待っているだけでは、何も変わらない！ ライセンスは無駄じゃなかった！ スキルを証明するのは、ライセンス！ 先生の指導は、今でも無料です！

同窓会名簿・会報を発刊して

① 沿革
明治35年 福島県立工業高等学校設立認可
明治37年 卒業生学校・漆器徒弟学校を廃し本校に併置し入学式を行う。創立記念日とした
明治38年 第1回卒業式をおこなう
明治39年 第1回製作品展覧会を開催
明治40年 同窓会としての組織ができる
大正11年 校長が学校長が兼務
大正12年 校歌の制定・校章「福工」に鶴を記す
白線3本をまぐ
昭和4年 校旗ができあがる。同窓会PTA
学校 創立20周年
昭和25年 福島県立会津工業高等学校となり現在の「会工」に鶴を記す
昭和9年 故坂内文三郎先生顕徳碑除幕式
昭和10年 創立30周年・奉安殿竣工
昭和16年 創立35周年・松江記念館並びに松江氏胸像竣工
白線3本を巻く
昭和21年 学帽を
新制高校となり「福島県立会津工業高等学校」と改称
昭和23年 新制高校 第一回卒業式
昭和24年 新制高校 第一回卒業式

雑感

坂井 健 (昭42 K卒)

昭和42年に農業科を卒業して、いつの間にか40年以上の歳月が流れました。今から5〜6年前までは時々、当時の夢を見ていましたが、この頃ようやく見なくなりました。

見なくなると言うことは、縁が切れたのか、見なくなつた年が卒業の年か？夢を見ている自分は60歳の歳であつても、いつまでも当時の歳だから不思議です。私の父が生前、「俺、今だに兵隊時代の夢を見るんだぞ。」と言つて



建築インテリア科もスタートから5年目に入りました。昨年度末の人事異動では卒業生を出したばかりの山野辺幸喜先生が地元の平工業高校に転出、代わって同窓生でインテリア科出身の田中哲先生が赴任されました。

昨年度も今までと同様、生徒たちは色々なことに挑戦してくれていたと思います。ざっと挙げると

- ・道都大学設計競技
- ・デザイン甲子園
- ・日本大学建築設計競技
- ・日本工業大学建築設計競技

建築インテリア科

主任 池上 邦彦



・九州産業大学建築設計競技
・日本建築協会工高生デザインコンクール
・会津りんご「緋の衣」キャラクターデザインコンクール
・高校生ものづくりコンテスト

・3級技能士 建築大工等々です。

また、校内の行事としては

- ・新入生歓迎会
- ・木造倉庫の建前
- ・会津ブランドものづくりフェアでの本棚作成指導
- ・ものづくり人材育成事業セミコンジャパンパネル作成等にも積極的に参加しました。

進路面ですが、女子生徒の数の多いこと、生徒の県外志向が強いこと、地元の建設業界への希望が伸びない状況です。進学者も多いので、その生徒たちが将来地元に戻ってきて、地域を支えてくれると考えています。

さて、昨年度から本校では「会津ものづくり人材育成事業」が始まっています。これまでインターンシップなどで諸先輩方の企業にお世話になってきましたが、これから授業の中でも企業実習を行う「デュアルシステム」にも取り組んでいくことになりました。いつもいつもお願いばかりで申し訳ありませんが、今後とも諸先輩方のご協力よろしくお願いします。

学び舎

平和の覇者を育みぬ。校歌から

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

平成20年度の新入生より次のような各科の略号となりました。A：建築インテリア科・C：セラミック化学科・M：機械科・E：電気科・I：情報技術科

情報技術科

主任 真田 郁夫



セラミック化学科

主任 佐藤 正道



化学の知識をベースに伝統工芸から新素材の分野までを幅広く学ぶことができます。

地場産業のやきもの伝統技を受け継ぎながら、新しいセラミックス（絶縁体、半導体、超電導体、磁性体など）や化学製品全般の知識や技術を学ぶことができます。

茶碗、色ガラス、電子部品リサイクル石けんなどを実際に作り、分析・評価する体験的な学習をします。

機械科

主任 平山 賢実



機械に関する基礎的な技術・技能を実験・実習を通して総合的に学習し、応用と創造の能力を養います。

従来の各種工作機械を用いた実習や実験に加え、先端技術のNCフライス盤やマシンングセンタ等による切削加工も行っています。

機械研修部では、ロボット班や省エネカー（ガソリン・電気）班等は全国大会で優勝するなど、熱心に活動しています。

電気科

主任 海和 寛



電気の基礎・基本を身に付け、発電・変電・送電の仕組みを学習します。

自動制御では、エレベーターや信号機に使われているシーケンス制御について、プログラマブルコントローラの使い方までを習得します。

卒業後は、電力・鉄道・電気設備の保守管理・発電・電気工事等の会社で電気の専門職として活躍しています。

情報技術科は、平成元年四月に繊維工業科の募集停止にともない新設されました。新設により二十年が経過し、平成二十年四月、めでたく第二十年期生四十名が入学いたしました。また卒業生も平成二十年三月で六百六十一名になりました。

情報教育は、現在義務教育や普通高校でも実施され、工業高校ならではの教育が求められるようになってきました。新設当時のソフトウェア中心の教育から制御技術も身に付ける教育へと変わってきています。

プログラミング言語はC言語を軸としてマイクログラフビジュアルベーシック、Javaなどを学習します。制御はC言語を中心にアセンブラなども学習します。また、HTMLやSQLそして、Flashなどインターネットやデータベースなども学習しています。

今後は、組込み技術者が不足していることから組み込みを中心とした教育を軸とし、インターネットがパソコンの登場により携帯端末の利用を中心としたサービスに変化することを考えての授業も組み込んでいきたいと考えています。

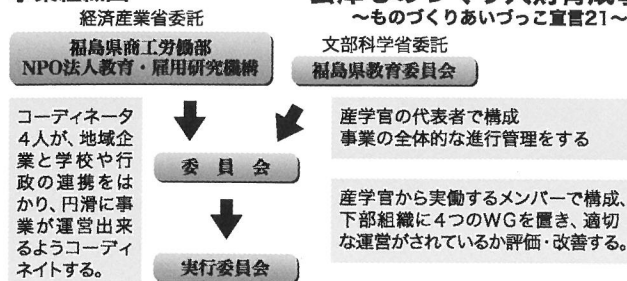
工業高校実践教育導入事業：福島県会津の取組事例

事業実施期間
平成19～21年度

事業者：福島県教育委員会・商工労働部、NPO法人教育・雇用研究機構
実施校：県立会津工業高等学校、県立喜多方工業高等学校

事業内容：会津地域の半導体を中心としたものづくり産業をフィールドに、産学官のバックアップのもと、地域のものづくり企業と工業高校が連携・協働を推進し、地域のものづくりを支える職業人を地域ぐるみで育成する。また、本事業の活動内容を広報することで、ものづくりの関心と楽しさを地域に浸透させ、工業高校・ものづくり企業の魅力向上につなげる。

事業組織図



会津ものづくり人財育成事業

～ものづくりあいづ宣言21～

【具体的な取組】

- ・会津版デュアルシステムの実施 (企業実習の単位化)
- ・幅広く基礎から高度まで技術習得 (企業研修施設活用)
- ・外部講師招聘事業 (企業技術者の工業高校での実践指導)
- ・生徒のものづくり共同研究 (企業技術者の支援)
- ・工業高校の施設や技術力の高度化 (設備の寄付など)
- ・会津のものづくり教育を浸透 (ものづくり学園祭・出前講座)
- ・会津の技術力を県内・国内外へ発信 (セミコン出展・もの人HP・各種発表会やイベント参加など)

【会津版デュアルシステム】

○デュアルシステムインターンシップ

(1学年全員が履修：1単位：短期インターンシップ前後に安全学など指導)

○デュアルシステムものづくり実践

(2,3学年で選択、各2単位、学校設定科目「ものづくり実践(仮称)」(機械工作・メカトロ・マテリアル・情報技術・環境とエコの5コース))

【主な成果】(平成19年度から平成20年度7月まで)



外部講師招聘事業
(半導体日新館など52ターマ延べ150回)

学校や企業での実践的指導
(校内33企業、生徒延2275名：企業実習34事業所、体験生徒66名)

企業トレーニング施設半導体機軸背増体験生徒5名、教員3名

セミコンJAPAN出展
高校生で史上初

設備の高度化
企業からの寄贈等

ものづくり学園祭来客約2万2千人実体的な展示会

地域連携推進部 石崎 晃

窯変天目茶碗の制作を通じたスペシャリスト育成への挑戦

はじめに
先進技術や技能を研究し、専門分野の人材育成を支援する文部科学省「目指せスペシャリスト」事業に、平成17年度～19年度の3年間、本校が指定を受け、「窯変天目茶碗の制作を通じたスペシャリスト育成への挑戦」をテーマに研究開発を進めてきた。

本校では、鉄を含んだ黒色の釉薬「天目釉」を用いた陶磁器制作を研究し、国宝級天目茶碗の再現、新規釉の開発を行い、実用化に繋げるなど地場産業への寄与を目指した。

セラミック科を中心に他学科と連携しながら、窯の中での色相・結晶の化学変化を含め、調査割合や焼成条件などを科学的に探究した。また、地元県元、大学、研究機関との産学官連携の下、技術指導を受けた。

こうした体系的な研究を通して、学科間・産学官の連携を構築・強化することにより、将来の地域社会の担い手となる「スペシャリスト(専門的職業人)」を育成した。ここでは、本事業の取組の一部とその成果について報告する。

学校設定科目「工芸デザイン」
学校設定科目として「工芸デザイン」(2年次2単位)を新設した。この科目では2時間連続の授業とし、3班編成にして座学と実習を交互に行った。座学ではデザイン基礎、伝統工芸、用の美、陶磁史に関する内容を学習し、実習ではろくろやコンピュータグラフィックス(CG)による成形技術・技術を習得した。特に電動ろくろ10台を導入設置できたことから、ひとり1台ずつ使用可能となった。その結果、生徒の成形技能が大幅に向上した。

「工芸デザイン」のシラバスと学習書(実技編)を作成した。学習書は書き込み式とし、ろくろ編とCG編との2本立てとした。来年度は、座学編を作成予定である。この科目で学んだ知識や技能を生かして、「CGクリエイター検定」「ろくろ技能検定」に挑戦する生徒が増えた。

ろくろ技能検定
伝統技能の学習奨励並びにその継承と普及を目的として、「ろくろ技能検定」を創設した。学科と実技試験ともに70点以上を取得した場合に合格となる。会津半郷焼事協同組合理事長(伝統工芸士)と本校教員の2名が実技審査をした。

創設後2年間で、生徒17名、大学生1名、社会人2名の計20名が受検し、全員合格となった。

本校は高校生以外の受検も可能であることから、若手職人や芸術系大学生の受検を積極的に入れ、地域に根ざした検定にし、産地の後継者育成や活性化に繋げていきたい。

なお、今年度よりジュニアマイスター認定検定となり点数化された(2点)。生徒の励みとなった。

外部講師招聘事業
3年間で陶芸家、技術者、起業家、大学教授など22名を外部講師として招聘し、80回以上の授業を行った(工芸デザイン実技指導や放課後の指導も含む)。

1年次は専門学習への興味・関心を高めるとともに、ろくろ成形などの伝統技能の習得を図り、工業人としての幅広い資質と起業家精神を育成した。

2、3年次は1年次よりも外部講師の授業を大幅に増やした。陶芸家による実技指導では、ろくろ技能検定合格や美術展入選に繋がるなど大きな成果が見られた。また、大学教授などを招聘することで、科学的な見地から探究する姿勢も育成した。

再現性を高めるには、経験や勘も大事であるが、科学的根拠や理論が必要であることを生徒に理解させることができた。さらには、講師陣の人生哲学や生活信条は生徒の心に響き、人格形成の一助となった。

校外学習

文部科学省指定「目指せスペシャリスト(スーパー専門高校)」事業の概要

セラミック科・セラミック化学科主任 佐藤 正道

産学官連携の下、窯元・企業・大学・研究機関にて校外学習を実施した。窯元・地元企業では登り窯見学(窯焚き体験)、工場見学、インターンシップを、大学・研究機関では高度機器分析などをそれぞれ行った。

「百聞は一見に如かず」である。実際に校外において「見る」「触れる」「聞く」「学ぶ」ことで、専門への興味・関心を高め、学習・勤労意欲を深化させることができた。また、生徒の顕著な変化が認められた。

今後は地元企業とデュアルシステムについて研究協議することが望まれる。

窯変(曜変)天目釉の研究
国宝級天目茶碗の再現や新規釉の開発には「芸術と科学の融合」が必要となる。経験や勘、試行錯誤を繰り返すことと併せて、科学的な見地から探究する姿勢を育成した。

系統的に調査実験を行った結果(千回以上)、比較的良好な油滴天目釉や曜変天目釉を再現することができた。また、新規開発釉の見通しを立てた。

曜変天目釉
釉式(1)に酸化第二鉄8wt%、炭酸マンガンを6wt%、その他3wt%(酸化チタン、酸化クロム、酸化コバルト)を添加した釉を用意し、素焼の茶碗に施した。乾燥後、二酸化チタン溶液(核加飾剤)を筆で茶碗内側に塗布し、機械科・電気科の生徒が製作した電気炉で焼成したところ、写真のような曜変特有の星紋と虹彩が認められた。国宝に近いものができ、これを会工曜変天目茶碗(加飾曜変天目茶碗)と名付けた。

会工曜変天目釉の特長は「無鉛化(安全安心)・一度本焼(省エネルギー)・酸化焼成(簡易操作)」であり、諸条件を設定すれば量産可能となる。

なお、研究施設において検証済みである。地場産業の振興に繋げていきたい(特許出願中)。

新規開発釉
天目釉の二度焼をしたところ、赤目黄天目釉などを見出すことができた。これは実験中のセレンディビティによるものであった。着色の原因は、二度焼による鉄の価数の変化によるものと考えられる。

おわりに
困難な研究テーマであるが、オンリーワン・ナンバーワンになれる要素が含まれている。幻の名器の再現への飽くなく挑戦は続く。生徒に夢と希望を与えつ、生徒・教員一丸となって天目釉の研究を継続する予定である。

今後は「ものづくりを通じた人づくり(人格の形成)」を合言葉に、文部科学省・経済産業省指定の「会津ものづくり人財育成事業(人は財[タカラ]という意味)～ものづくりあいづ宣言21～」に繋げ、地域社会から期待され求められるスペシャリスト(専門的職業人)を育成し、より一層、地域社会に密着・貢献する工業高校を目指したい。

【謝辞】関係各位に深く感謝申し上げます。



会工曜変天目茶碗

会工同窓会役員

平成20年9月現在

■本部

顧問	吉田一榮	会津若松市
会長	山内清司	会津若松市
副会長	梅津正夫	会津若松市
会長代行	手代木利夫	会津若松市
副会長	渡部藤雄	会津若松市
星芳雄	星芳雄	会津若松市
荒井士郎	荒井士郎	会津若松市
星久	星久	会津若松市
菅沼淳一	菅沼淳一	会津若松市
大堀順一	大堀順一	会津若松市
菅沼章生	菅沼章生	会津若松市
鈴木仁	鈴木仁	会津若松市
高杉可勝	高杉可勝	会津若松市
荒明正義	荒明正義	会津若松市
渡部洋子	渡部洋子	会津若松市
栗城和夫	栗城和夫	会津若松市
白井充	白井充	会津若松市
藤田晴史	藤田晴史	会津若松市
山岸清	山岸清	会津若松市
伊藤博	伊藤博	会津若松市
冠木忠之	冠木忠之	会津若松市
荒明正義	荒明正義	会津若松市
小林憲一	小林憲一	会津若松市
江花光泰	江花光泰	会津若松市
片平寛	片平寛	会津若松市
加藤昭雄	加藤昭雄	会津若松市
石原章男	石原章男	会津若松市
齋藤四志男	齋藤四志男	会津若松市
根本一雄	根本一雄	会津若松市
藤田晴史	藤田晴史	会津若松市
近藤信之	近藤信之	会津若松市
長谷川利彦	長谷川利彦	会津若松市
佐藤幹夫	佐藤幹夫	会津若松市
佐藤義之	佐藤義之	会津若松市
石田功	石田功	会津若松市
荒川富士雄	荒川富士雄	会津若松市
風間眞一	風間眞一	会津若松市
渡部崇	渡部崇	会津若松市
菊地壽雄	菊地壽雄	会津若松市
菅原正晴	菅原正晴	会津若松市
伊藤幸治	伊藤幸治	会津若松市
菊地登雄	菊地登雄	会津若松市
五十嵐昭夫	五十嵐昭夫	会津若松市
三井正春	三井正春	会津若松市
石川善一	石川善一	会津若松市
金田寛	金田寛	会津若松市
神田信之	神田信之	会津若松市
長谷川与一	長谷川与一	会津若松市
猪俣勇一	猪俣勇一	会津若松市
佐野常雄	佐野常雄	会津若松市

編集後記

初秋の季節となりましたが、会員の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

今年度は北京オリンピックの年、ボクシング・水泳で惜しくも出場を逃しましたが、「会工」の名を全国に轟かせる事ができました。さて、今年度の会報も昨年と同じ時期に発行できました。これも会員皆様のご協力があった事であります。さらに充実した紙面と考えておりますので各支部の活動状況等事務局へご一報ください。お願いいたします。

最後に、七月初旬に本部同窓会会長梅津正夫氏のご逝去に際しまして、ここに改めて氏のご功績に対し感謝申し上げますと共に謹んでご冥福をお祈り申し上げます次第です。

梨子本傑 鴻巣幸江

(平成20年9月現在)

■各支部役員名・1

地 区	役 職	名 前	卒 業 年	地 区	役 職	名 前	卒 業 年	地 区	役 職	名 前	卒 業 年
東 京	会 副	長 岡 金 五 十	34	近 畿	相 談 会 務 局 監 理 会 副 事 務 常 任	谷 川 部 井 川 達 川 藤 竹 山 部 野 井 野 藤 林 田 内 木 狹 明 部 山 城 東 林 林 間 平 藤 場 藤 中 田 田 山 森 竹 森 沼 口 原 部 藤 田 原 根 俣 藤 岸 藤 井 部 間 長 渡 荒 石 安 黒 近 大 秋 渡 信 真 酒 細 遠 小 吉 山 坂 手 若 荒 渡 小 栗 伊 小 小 佐 片 佐 関 安 田 藤 浅 小 萱 佐 栢 小 山 石 渡 斎 榎 三 曾 川 近 山 佐 白 渡 風	26	若 松	幹 席 会 監 顧 会 副 幹 事 会 幹 監 顧 会 会 幹 常 任 会 副 幹 副 監 顧 会 副 事 務 局 次 幹 席 会 監 顧 会 副 事 務 局 幹 席 会 監 顧 会		